

主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 19

ローマ人への手紙において (3)

開放する方、またわたしたちを勝ち得て余りがあるようにする方

聖書：ローマ 8:2, 31-39

I. わたしたちは、わたしたちの解放する方、命の霊の法則としてのキリストを経験し、享受し、表現することができます——ローマ 8:2 :

- A. ローマ第 8 章における命の霊の法則に対する享受は、ローマ第 12 章におけるキリストのからだの実際へとわたしたちを導き入れます—— 8:2, 28-29. 12:1-2, 11. ペリピ 1:19。
- B. あらゆる命には法則があり、法則でさえあります。神の命は最高の命であり、この命の法則は最高の法則です——参照、ヨハネ 1:4-5. 12:24. 14:6 前半. 10:10 後半. I コリント 15:45 後半。
- C. 三一の神は肉体と成ること、十字架、復活、昇天の手順を経て、命の霊の法則となり、「科学的な」法則、自動的な原則としてわたしたちの霊の中に設置されました。これは神のエコノミーにおける最大の発見、回復の一つでさえあります——ローマ 8:2-3, 11, 34, 16。
- D. 命の霊の法則は、神聖な命の自然な力です。それは神聖な命の自然な特徴、生来の、自動的な機能です—— 12:2. ペリピ 2:13. エゼキエル 36:26-27. 箴 30:18-19. イザヤ 40:28-31. ヘブル 12:2 前半. ペリピ 4:13. コロサイ 1:28-29。
- E. わたしたちが主に触れ続け、主との接触の中にとどまっているとき、命の霊の法則は自動的に、自然に、難なく働きます：
 - 1. わたしたちは自分の奮闘や努力をやめる必要があります——ガラテヤ 2:20 前半. ローマ 7:15-20 :
 - a. もしわたしたちが、罪が法則であって、わたしたちの意志は決してこの法則に打ち勝つことができないのを見たことがないなら、ローマ第 7 章の罠に陥りません。わたしたちは決してローマ第 8 章に到達しないでしょう。
 - b. パウロは何度も欲しましたが、その結果は失敗の繰り返しにすぎませんでした。人ができる最上のことは、決心することです—— 7:18。
 - c. 罪はわたしたちの内側で眠っているとき、それは単に罪ですが、善を行なおうとしてわたしたちの内側で目覚めるとき、それは「悪」となります——「そこでわたしは、善を行なおうと欲しているわたしに、悪が共にあるという法則を見いだします」—— 21 節。
 - d. わたしたちは欲するのではなく、思いを霊に付け、霊にしたがって歩くべきです—— 8:6, 4. ペリピ 2:13。
 - 2. わたしたちは祈りによって、また依存の霊を持つことによって、内住する、設置された、自動的な、内側の活動する神と協力し、こうして、命の主、また働きの主との交わりを維持する必要があります—— I テサロニケ 5:17. エペソ 6:17-18。

3. わたしたちは命の霊の法則の活動のために、霊の中の命の感覚を顧み、命の交わり、神聖な命の流れの中にとどまる必要があります——ローマ 8:6, 16. I ヨハネ 1:2-3, 6-7。

F. キリストのからだにおけるわたしたちの生活と奉仕に対するすべてのかぎは、わたしたちの内側で活動する命の霊の法則です：

1. わたしたちを神格においてではなく、命、性質、表現において神とならせ、神の長子のかたちへと形成して、彼の団体の表現とならせる——ローマ 8:2, 29。

2. わたしたちを、あらゆる種類の機能を持つキリストのからだの肢体に構成する——エペソ 4:11-12, 16。

G. わたしたちは以下の方法でこの法則に「スイッチを入れる」ことによって、命の霊の法則としての、内側で活動する三一の神と協力することができます：

1. わたしたちは霊にしたがって歩き、霊の中で生きる必要があります——ローマ 8:4, 参照、詩 23:3：

a. キリストを経験する秘訣は、わたしたちを力づけていっさいの事柄を行なわせる方の中にいることであり、彼の中にいる秘訣は、わたしたちの霊の中にあることです——ピリピ 4:12-13, 23。

b. キリストの中に生きる実行は、わたしたちが霊の中に生きることです。ローマ人への手紙で使徒パウロは、わたしたちが何であり (2:29. 8:5-6, 9)、何を持っており (10, 16 節)、神に対して何を行なっても (1:9. 7:6. 8:4, 13. 12:11)、霊の中にいなければならないことを強調しています：

(1) わたしたちは霊の中に生きるために、時間を取って主を見つめ、祈ってイエスと交わり、彼の御顔の中に浸り、彼の美しさに浸透され、彼の卓越性を放出する必要があります——II コリント 3:16, 18. 詩 27:4. 参照、マタイ 6:6. 14:23. 出 33:11 前半. 34:4, フットノート 2。

(2) わたしたちは霊の中に生きるために、絶えず祈る必要があります——I テサロニケ 5:17. 参照、ヨハネ 20:22. 哀 3:55-56. ローマ 10:12-13。

(3) わたしたちは霊の中に生きるために、神聖な命の交わりの中にとどまり、神聖な光の中を歩く必要があります——I ヨハネ 1:2-3, 6-7。

2. わたしたちはその霊の事柄を思う——思いを霊に付けることができます——ローマ 8:5-6：

a. わたしたちはわたしたちの霊に注意し、霊の感覚に注意を払い、その霊を悲しませず、その霊を消さないようにする必要があります——マラキ 2:15-16. エペソ 4:30. I テサロニケ 5:19。

b. わたしたちは、霊であり命である神の言葉に思いを付けることによって、思いを霊に付けることができます——ヨハネ 6:63. イザヤ 55:8-11。

c. 思いを霊に付けること、その霊の事柄を思うことはまた、主と一になって、キリスト・イエスの心の深みの中で、召会とすべての聖徒たちを顧みることでもあります——ピリピ 2:21. 1:8。

3. わたしたちはその霊によって体の行ないを死に渡すことができます——ローマ 8:13. ゼカリヤ 4:6. ガラテヤ 5:16：

a. わたしたちはその霊に、わたしたちの内なる存在の中に住み、居住していただ

かなければなりません——ローマ 8:9, 11。

- b. わたしたちは召会生活の中にとどまる必要があります。そこでは平安の神が、サタンをわたしたちの足の下に踏み砕かれます—— 16:20. 12:1-2, 11。
4. わたしたちは神の子たちとして、その霊によって導かれることができます—— 8:14 :
 - a. その霊によって導かれるとは、内なる油塗り、内住する複合の霊の行動と働きを顧みることです—— I ヨハネ 2:20, 27。
 - b. その霊によって導かれるとは、わたしたちの霊の中の安息を顧み、キリストの凱行進の中の捕虜として引いて行かれることです—— II コリント 2:12-14, 7:5-6。
5. わたしたちは子たる身分の霊の中で御父に叫ぶことができます——ローマ 8:15, ガラテヤ 4:6 :
 - a. わたしたちは「アバ、父よ！」と叫ぶとき（ローマ 8:15）、「その霊ご自身、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子供たちであることを、証ししてください」（16節）。
 - b. 「アバ、父よ！」と叫ぶことは、わたしたちと神との親密な関係の甘さを表現します——参照、マタイ 18:3。
6. わたしたちは完全な子たる身分、すなわちわたしたちの体の贖いのために、とりなす霊の中でうめくことができます——ローマ 8:23, 26-27 :
 - a. わたしたちがうめく中でその霊もうめき、わたしたちのためにとりなします。
 - b. とりなす霊はわたしたちのために祈り、わたしたちが神の長子のかたちとしてのキリストのかたちに同形化されるようにします—— 28-29 節。

II. わたしたちは、わたしたちを勝ち得て余りがあるようにしてくださる方としてのキリストを経験し、享受し、表現することができます—— 37 節 :

- A. わたしたちは神を愛し、キリストの愛によって抑制され、制限され、動機づけられ、強いられ、迫られ、駆り立てられて、すべての事柄で勝ち得て余りがあることができます—— 31-39 節 :
 1. わたしたちは神を愛することによって、神の中にあるすべての豊富にあずかります—— I コリント 2:9-10. II テモテ 3:2-4。
 2. わたしたちはキリストの愛に押し迫られて、わたしたちの愛としてのキリストをもって神と聖徒たちを愛する必要があります—— II コリント 5:14。
- B. 「もし神がわたしたちの味方であるなら、だれがわたしたちに敵対し得るでしょうか？」——ローマ 8:31. エレミヤ 31:31-34. ヘブル 8:8-10 :
 1. 「わたしは永遠の契約を彼らと結んで、彼らから離れず、彼らに幸いなことを行なう。また彼らの心の中にわたしに対する畏れを置いて、彼らがわたしから離れ去らないようにする。わたしは彼らを喜び、彼らに幸いなことを行ない、真実をもって、わたしの心を尽くし、わたしの魂を尽くして、彼らをこの地に植える」——エレミヤ 32:40-41。
 2. この永遠の契約は新しい契約です。この契約によって、神はわたしたちから離れず、わたしたちを良き地であるキリストの中に植え、キリストのすべての面がわたしたちによって買われます。すなわち、わたしたちが代価を払って後ろにある

ものを忘れ、キリストを追い求めることを通して獲得されます—— 40-44 節. ピ
リピ 3:8-14。

- C. 神はキリストと共に、万物を無代価でわたしたちに賜わります。あらゆること、あらゆる人、あらゆる状況は、わたしたち、彼を愛する者のものであり、それはわたしたちを成就するためです——ローマ 8:28, 32. I コリント 3:21-22。
- D. キリストはわたしたちのために死んで、復活させられた後、神の右で、わたしたちのためにとりなしています——ローマ 8:34 :
1. 34 節で、キリストは神の右におられますが、10 節で、キリストは今やわたしたちの中に、わたしたちの霊の中におられます——II テモテ 4:22. 参照、ヨハネ 1:51. 創 28:11-22。
 2. ローマ第 8 章 34 節で、キリストがわたしたちのためにとりなしていますが、26 節では、その霊がわたしたちのためにとりなしています：
 - a. これはふたりのとりなす方ではなく、ひとりの主なる霊です——II コリント 3:18。
 - b. 彼は両端でわたしたちのためにとりなしています。一つの端では、わたしたちの中にいますその霊が、おそらくわたしたちのためにとりなしを開始します。もう一つの端では、主なるキリストが神の右で、おそらくわたしたちのためにとりなしを完成します。それはおもに、わたしたちが彼のかたちに同形化され、彼の栄光の中へともたらされるためであるに違いありません。
- E. どの苦難も、患難、苦悩、迫害、飢え、裸、危険、剣を含めて、わたしたちをキリストの愛から引き離すことはありません——ローマ 8:35。
- F. すべての苦難において、わたしたちは勝ち得て余りがあります—— 37 節 :
1. わたしたちに対する神の変わらない愛と、キリストがわたしたちのためにあらゆることを成し遂げてくださったという事実のゆえに、患難も迫害もわたしたちを抑圧し、あるいは打ち破ることはできません。それどころか、これらすべての事柄において、わたしたちを愛してくださった方を通して、わたしたちは勝ち得て余りがあります。
 2. 神の愛は彼の永遠の救いの源です。この愛は、何もそれからわたしたちを引き離すことができず、キリストの中にあり、聖霊を通してわたしたちの心の中に注がれています—— 38-39 節. 5:5. エレミヤ 31:3。
 3. 神の救いにおいて、神の愛はキリストの愛となりました。それにはキリストの恵みを通して、わたしたちのための多くのすばらしい事があり、神の全体的な救いがわたしたちの中で成し遂げられるに至ります——ローマ 8:35. ホセア 11:4。
 4. これらのすばらしい事は神の敵を先導して、あらゆる種類の災難をもってわたしたちを攻撃させますが、キリストにある神の愛に対するわたしたちの応答のゆえに、これらの攻撃はわたしたちにとって益となります——ローマ 8:35-36, 28。
 5. ですから、わたしたちはすべての苦難と災難において、勝ち得て余りがあります—— 37 節。